

どんな小さなことでもいいから、社会に貢献することにチャレンジしてみようという思いが「かながわ 高校生チャレンジボランティア」という言葉には込められています。まず、自分ができる、ちょっとした活動から始めてみましょう。

「かながわ 高校生チャレンジボランティア News」は、高校生の皆さんに、ボランティア活動に関する情報をお届けします。



かるたで国語の勉強

子どもとの勉強会を企画 高校生ボランティアセンター

昨年12月26日、27日の両日、横浜市南区の「フリースペースみなみ」にて、高校生ボランティアセンターの高校生スタッフが企画した「子どもと楽しみながら勉強しよう!!!」が実施され、ボランティアとして参加した高校生らが、子どもたちと折り紙をしたり、国語や算数の勉強を教えました。

次の企画は、2月24日(土)野毛山公園にて「神奈川県内の高校生で力を合わせて野毛山公園を綺麗にしよう!」というもの。問い合わせ、参加申し込みは、高校生ボランティアセンター“friends”(神奈川県生涯学習情報センター内)電話045-312-1121 内線2506

「ボランティア体験報告会」 鎌倉・湘南地区の県立高校16校

昨年12月19日、藤沢産業センターにて、鎌倉・湘南地区の県立高校16校の生徒による「ボランティア体験報告会」が開催されました。生徒、教員ら約85名が参加し、各学校で行われているボランティア活動、地域貢献活動について、各校から発表がありました。第2部では、ボランティア活動をとおして良かったこと、いやだったこと、これからどんなボランティア活動をしたいかななどをテーマに、情報交換・意見交換を行いました。「他校との連携ができるボランティアがしたい。」「やりた

いことが見つかった。」「色々な学校の同じような活動をしている人達と交流できて楽しかった。」などに意見・感想が聞かれました。



ボランティア体験を報告する藤沢西高校の生徒



8つのテーブルに分かれて意見交換



携帯電話向けサイト「かながわ高校生チャレンジボランティア」より、ボランティア活動に関する情報の提供をスタートしました。携帯電話をお持ちの方は是非アクセスしてみてください。

携帯サイトのURL:

<http://www.pref.kanagawa.jp/i/40/4013/volunteer/index.html>

バーコード認識機能がついた携帯電話をお持ちの方は、このQRコードでURLを読み取ることができます。



携帯電話は、時間と場所を考えて、マナーを守って使用しましょう。



このマークの原案は、県立上矢部高等学校の卒業生である廣瀬菜穂さんが在学中に作成したものです。心(ハート)を背景にして、人と人が支えあっている様子を象徴しています。また、それがボランティア(volunteer)の「v」を表現しています。